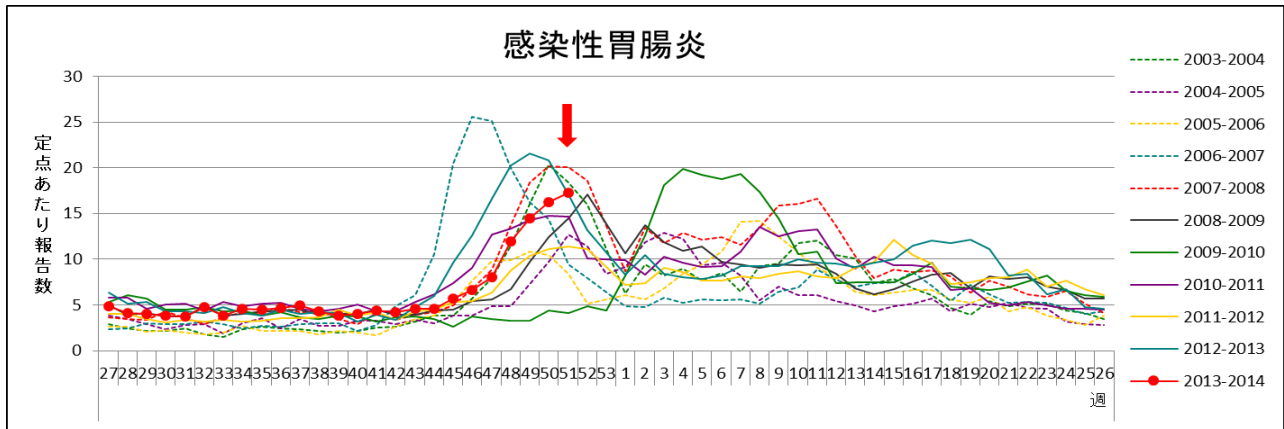


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 51 週 (12 月 16 日 ~ 12 月 22 日)

【お知らせ】次週、2013 年 第 52 週 (12 / 23 ~ 12 / 29) の感染性胃腸炎情報は、平成 26 年 1 月 9 日 (木) にホームページに掲載いたします。

- 感染性胃腸炎は、県全体で 934 名 (定点あたり 16.20 → 17.30 人) の発生がありました (54 定点医療機関報告)。
- 岡山市の小学校 1 校で、感染性胃腸炎による学級閉鎖がありました。

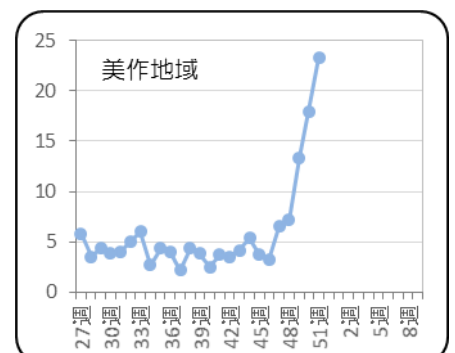
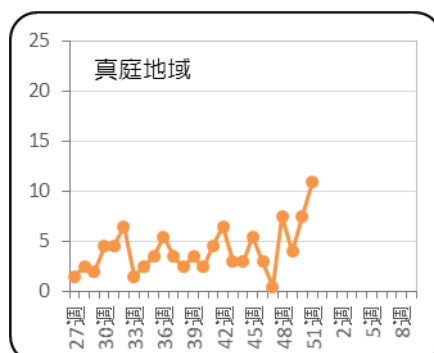
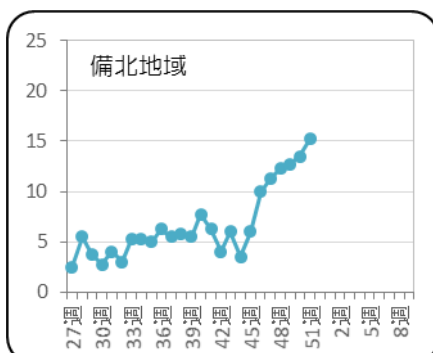
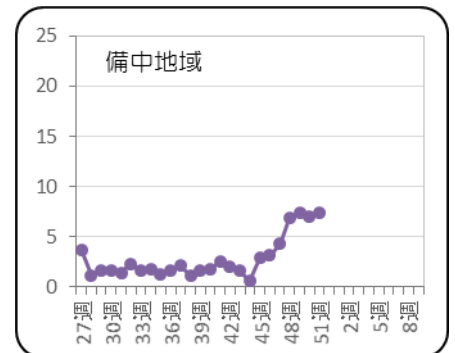
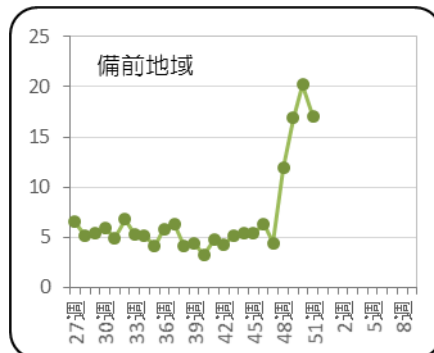
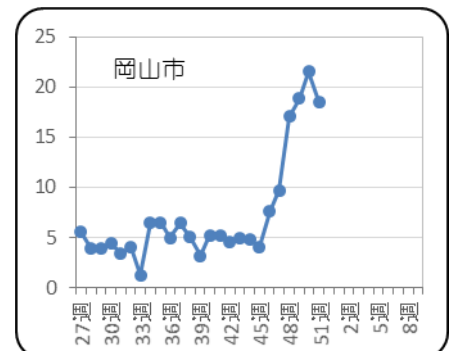
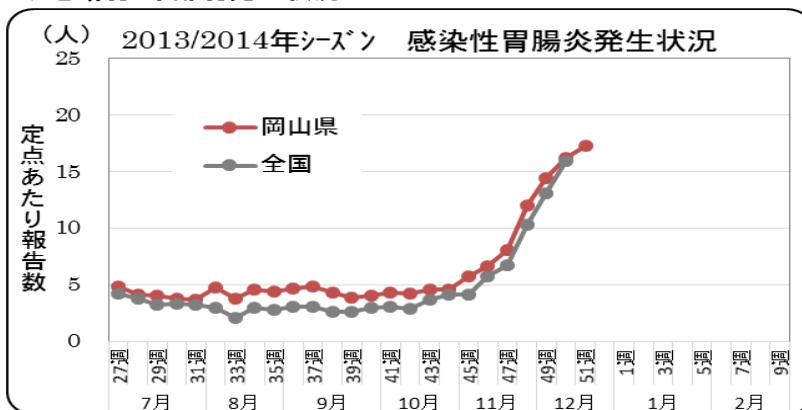


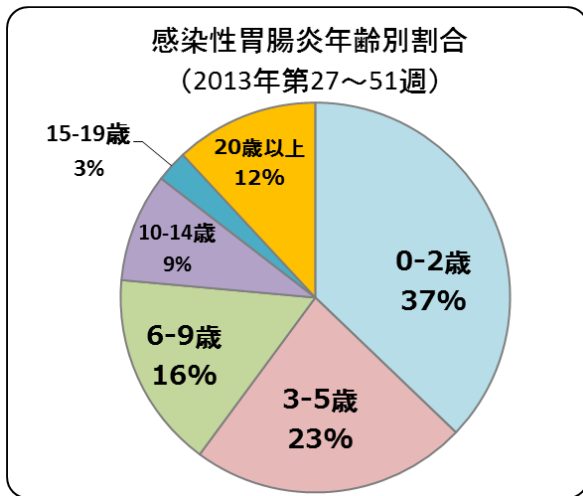
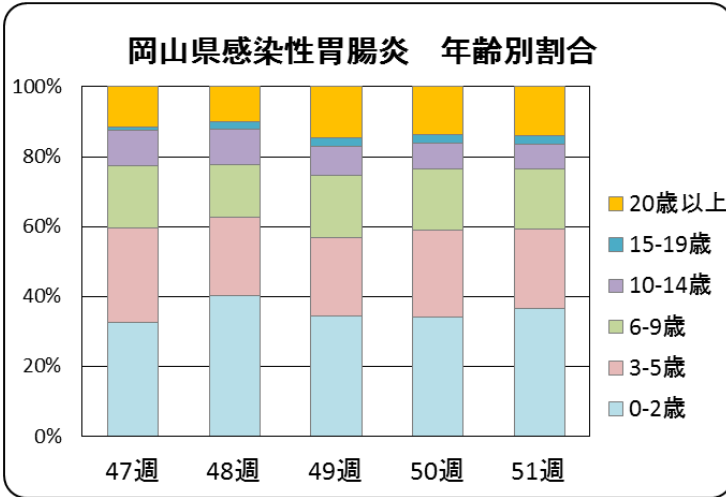
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で 934 名 (定点あたり 16.20 → 17.30 人) の発生があり、前週より増加しました。第 43 週以降報告数の増加が続いており、11 月下旬 (第 47 週頃) からは急激に増加しています。冬の感染性胃腸炎の原因はノロウイルス等のウイルスによるものが多く、幅広い年齢層での発生がみられます。学校や福祉施設、病院などでは、手洗いの徹底や下痢便・嘔吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。

[○ノロウイルスに関する Q&A について \(厚生労働省\)](#)

◆地域別・年齢別発生状況





地域別では、美作地域 (23.33 人)、倉敷市 (20.73 人)、岡山市 (18.57 人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、美作地域では3週連続で大きく増加しました。倉敷市及び美作地域で新たに定点あたり患者数が20人を上回り、発生レベル3の地域は岡山市、備前地域、倉敷市、美作地域となりました。

年齢別累計では、5歳以下の乳幼児が全体の60%を占めています。

◎感染性胃腸炎が増加しています。

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

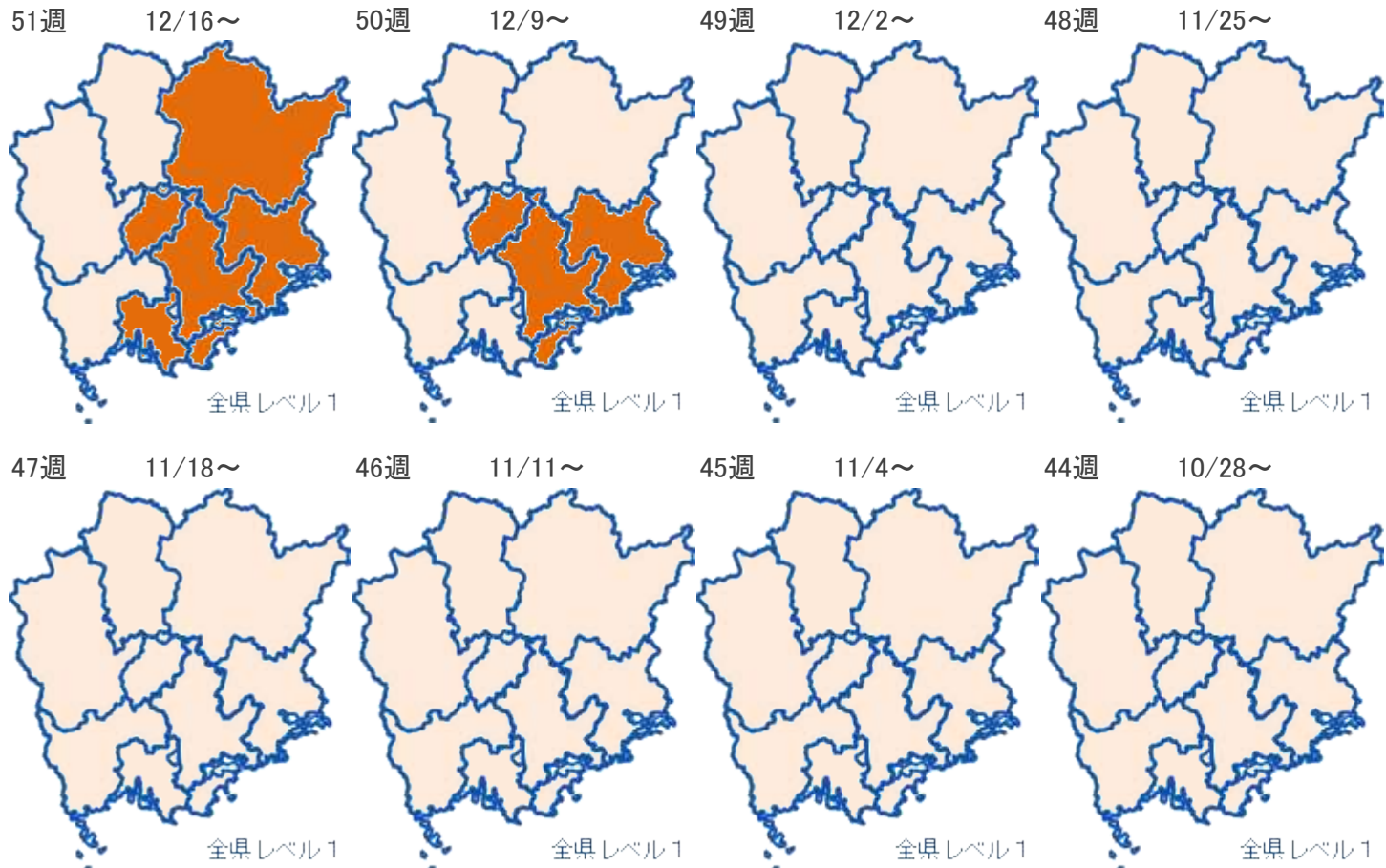
通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。



岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2013年 51週

2013年12月25日

11:08:51



感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。